

SAPIX								
学習内容								
家庭学習 ポイント								
課題の把握 と解決 策								
SAPIX								
学習内容								
家庭学習 ポイント								
課題の把握 と解決 策								
SAPIX								
学習内容								
家庭学習 ポイント								
課題の把握 と解決 策								

SAPIX	5年														
	理科														
学習内容	32回 熱のはたらき～熱③～ 33回 天気とその変化～気象～ 34回 鏡と光～音と光③～ 冬期講習01回 磁力と電気～電気のはたらき④～ 冬期講習02回 電磁石～電気のはたらき⑤～														
家庭学習ポイント	<p>12月中に「熱のはたらき」「天気とその変化」「鏡と光」を、冬期講習で「磁力と電気」「電磁石」を学びます。32回「熱のはたらき～熱③～」では、水の状態変化と熱量（カロリー）計算を中心に学習します。水や氷を熱していった時の状態変化をグラフから読み取る問題では、グラフの変化（形）から「何が起こっているのか」の意味付けをしていく作業を学びます。グラフの形の理由（意味）を、納得できる形で理解するのがポイントです。33回「33回 天気とその変化～気象～」では、季節による代表的な気圧配置などを学びます。暗記分野ではありますが「丸覚え」ではなく、季節の変化と日本を取り巻く気圧を関連させ、物語のように理解しておくと忘れにくく、思い出しやすい知識となります。34回「鏡と光～音と光③～」では、「鏡に映っている=鏡の中にそっくり同じものが入っている」と考え、線対称の作図をもとに問題を解いていくのがポイントです。手を動かしてノートに作図をしましょう。冬期講習01回「磁力と電気～電気のはたらき④～」では右ねじの法則をもとに、右手を使い、電流の向き、磁力の向きを一つ一つ整理していく作業です。方位磁針の振れ角の大きさは電流の強さに左右されます。直列、並列回路の知識も必要になりますので、この点につまずきがある場合は回路図を復習しておくことが必要です。</p>														
課題の把握と解決策	チェック1	水が沸騰すると温度が100°Cより上がらなくなる理由を説明できますか？							チェック						
	解決策	「水を水蒸気に変えるのに熱が使われるから」という定番の記述ですね							<input type="checkbox"/>						
	チェック2	氷がとけて水になるとき温度が0°Cより上がらなくなる理由を説明できますか？							チェック						
	解決策	チェック1同様「氷をとかすのに熱が使われるため」ですね							<input type="checkbox"/>						
	チェック3	日本付近の1年間の天気の変化について、順を追って説明できますか？							チェック						
	解決策	「夏=小笠原気団が発達、冬=シベリア気団が発達」を軸に間の季節も含めて説明してみましょう							<input type="checkbox"/>						
	チェック4	鏡の問題では「鏡の中」を作図して考えていますか？							チェック						
	解決策	鏡を対称の軸とした線対称の図形を書くのは必須と考えましょう							<input type="checkbox"/>						
	チェック5	乾電池、豆電球のつなぎ方と回路に流れる電流の大きさを正しく理解していますか？							チェック						
	解決策	今回の「電流と磁界」においても必須の知識です。あやふやな場合は復習しておきましょう							<input type="checkbox"/>						
SAPIX	5年														
	社会														
学習内容	32回 幕末の動乱 33回 明治維新 34回 民主政治のめばえ 冬期講習01回 戦争の時代（1） 冬期講習02回 大正時代														
家庭学習ポイント	<p>No.32「幕末の動乱」から始まります。ここで武士の時代が終わり、近代に入ります。No.33「明治維新」、No.34「民主政治のめばえ」と進みます。明治以降の近代史は、多くのお子さんにとって試練となります。立て続けに重要な出来事が起こるため、これまで以上に理解と暗記の両立が必要になります。慣れないうちは時間がかかるかもしれません、問題を解く前に年表をノートに整理し直した方が、全体としての学習効率は上がるでしょう。1867年（大政奉還）・1869年（版籍奉還）・1871年（廃藩置県）・1872年（学制公布・富岡製糸場）・1873年（地租改正）・1874年（民選議院設立建白書）・1877年（西南戦争）・・・と明治末期まで毎年のように重要事項が続けます。年表にまとめて流れで理解するほうが効率的です。冬期講習のカリキュラムに「復習」はなく、平常授業の続きとして明治後期の「戦争の時代(1)」、そして「大正時代」が扱われます。覚えるべきエピソードが非常に多い時代が続きます。ある程度時間を、社会の学習に割いて対応することが必要です。また1月の組分けテストには地理分野も出題されるので、デイリーなどを見直す時間をとることを忘れないようにしましょう。</p>														
課題の把握と解決策	チェック1	江戸幕府末期からの「流れ」をしっかり理解して学習していますか？							チェック						
	解決策	尊王攘夷運動～明治維新～富国強兵・文明開化といったKWに起こったことを結びつけましょう							<input type="checkbox"/>						
	チェック2	自分で年表にまとめて学習が進められていますか？							チェック						
	解決策	江戸末期～明治時代にかけては、日本史上もっとも激動の時期です。年表で流れを理解しましょう							<input type="checkbox"/>						
	チェック3	冬休みもカリキュラムが進み続けることを織り込み済みで学習を進めていますか？							チェック						
	解決策	冬休みはある程度の時間を社会の学習に割くことが望ましいでしょう							<input type="checkbox"/>						
	チェック4	ルーティンの学習に地理を組み込んでいますか？							チェック						
	解決策	1月組分けには地理分野も例年出題されています。意識的に地理の後半で学習した内容の復習を							<input type="checkbox"/>						
	チェック5	歴史学習の「スタイル」を確立できていますか？							チェック						
	解決策	明治時代以降こそ「因果関係で流れを掴む」学習法が効果を生み出します							<input type="checkbox"/>						